

団体名		公益財団法人 武蔵野市子ども協会						
①	指 標 名	学童・あそべえ事業の受託			目 標 値	平成29年4月から受託できるように必要な体制を整える	実 績 値	平成29年4月から受託した。
	過 去 の 実 績 (単位:)	平成25年度	平成26年度	平成27年度	達 成 率	100.0%	達 成 状 況	未実施・未達成 <input checked="" type="checkbox"/> 達成
	取 組 内 容	※28年度中の目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。 ①市で行っている試行事業の結果を検証し、市とよく協議し、事業の枠組みを決定した。 ②事業の受託に向けて、理事会の了解を得て、9月に臨時の評議員会を開催し、定款の一部変更の承認を得た。また、東京都に公益認定の変更手続きを行った。 ③12月と3月の理事会で、受託に必要な規程の整備を行い、境こども園の隣に事務局の分室として、民間のアパートを借り上げた。 ④市の仕様に沿って、館長、学童指導員、あそべえチーフ、アルバイトの採用試験を行い、300名を超える職員の内定を出した。 ⑤平成29年4月にはスムーズに事務を引き継げるように、採用予定の正規職員と嘱託職員向けに研修を実施。希望者には、現場での研修も実施した。						
	一 次 評 価	※目標の達成状況・要因・今後の取組方針等について記入してください。 平成29年4月、長い間検討をしてきた事業受託を、全12校で実施することができた。十分な引継ぎ期間はなかったが、市で勤務していた職員を一定数子ども協会が採用できたことにより、事業の継続性は担保できていると考えている。全校に館長と学童保育の正規指導員が配置できたので、今後は、市から期待されているミッションを果たし、市民サービスがアップしたことを実感できるようにしていきたい。						
	二 次 評 価	学童・あそべえの事業受託について、入念な準備を行い、円滑に受託業務を開始できたことを評価する。これまでの直営とは比べ、委託によりさらにサービス向上が図られることを期待する。						
②	指 標 名	老朽化した施設の改修への対応			目 標 値	施設の適正な維持管理と改修の財源確保の検討	実 績 値	当面の維持管理に関しては市が直接支援してくれることとなった。将来のことは検討中。
	過 去 の 実 績 (単位:)	平成25年度	平成26年度	平成27年度	達 成 率	50.0%	達 成 状 況	未実施 <input type="checkbox"/> 未達成 <input type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/>
	取 組 内 容	※28年度中の目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。 ①市から移管された施設について、市と「子ども協会施設の営繕工事に伴う業務に関する協定書」を27年度に締結したが、更新されず、市の担当部署が関わり、直接支援を受けられることとなった。 ②子ども協会が建設した施設についても市で建てた建物と同様に、維持管理において市の支援を受けられることとなった。 ③今後の施設管理のあり方について、さらに市と協議を続けていく。						
	一 次 評 価	※目標の達成状況・要因・今後の取組方針等について記入してください。 老朽化した施設で安全面から緊急工事をしなければならない時でも財源的に裁量の余地が極めて限定的なため、すみやかな対応が困難である。当面の維持管理に関しては市が直接支援していくこととなったが、将来どうするべきなのか、財政援助出資団体のあり方に関わる問題でもあり、引き続きよく協議をしていかなければならない。						
	二 次 評 価	市から移管された施設については、引き続き市と協議し、安全確保とサービスの維持・向上に努めていただきたい。						
③	指 標 名	職員の人事・給与制度の検討			目 標 値	職員のやる気のでる人事・給与制度の導入	実 績 値	係長昇任試験制度および高年齢者継続雇用制度の導入決定、内部登用制度の導入等
	過 去 の 実 績 (単位:)	平成25年度	平成26年度	平成27年度	達 成 率	70.0%	達 成 状 況	未実施 <input type="checkbox"/> 未達成 <input type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/>
	取 組 内 容	※28年度中の目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。 ①市の給与制度の総合的な見直しに沿って、子ども協会の給与制度等を見直し、28年4月から新制度を導入した。 ②係長昇任試験制度を検討し、29年4月から導入する。 ③高年齢者継続雇用制度を検討し、29年4月から導入する。 ④嘱託職員から正規職員への内部登用制度を導入した。 ⑤学童・あそべえ受託後の事務局の組織体制を見直した。 ⑥職員研修計画に沿って、研修を実施した。						
	一 次 評 価	※目標の達成状況・要因・今後の取組方針等について記入してください。 子ども協会は、学童・あそべえ事業を受託し、正規職員、嘱託職員を合わせて330名(29年4月1日現在)と大規模な団体となった。優秀な人材を確保し、しっかりと育てていくことが増々重要となってきている。そのためには、職員のやる気のでる人事・給与制度の構築が必要である。職員研修計画を策定し、主任昇任試験制度の導入に引き続き、29年4月からは係長昇任試験制度等も導入した。給与制度については、市や他の財政援助出資団体に準じて改正を行ってきているが、まだ導入していない人事評価制度の検討など今後も引き続き検討を続けていくべきである。						
	二 次 評 価	係長昇任試験制度、高年齢者継続雇用制度、嘱託職員から正規職員への内部登用制度の導入等、様々な取組みを評価する。職員のモチベーション向上につながる取組み等引き続き検討を進めていただきたい。						